



# 自治会だより

2018  
初夏号

～世代超え 気持ち繋がる  
ふるさとへ～



## おかげさまで30年

自治会会長 浅井 嘉一



この度自治会第30回通常総会で自治会長を仰せつかりました。平成の最後、役員も5年目となり、身の引き締まる思いです。昭和62年（1987年）旧国鉄最後の駅として新白岡駅開業、ニュータウンでは平成元年（1989年）自治会が誕生しています。私事ですが、その頃、3度目で通算11年目の北海道暮らし、札幌で平成元年を迎えました。平成3年に縁あってニュータウンへ転居、「終の棲家」になりました。先輩諸氏のご活躍と、多くの会員のご努力によって、自治会はおかげさまで創立30周年を迎えることができました。

5万人を超えた白岡市には、東北道と交差する圏央道が東西に延び、白岡菖蒲ICは久喜

ICと共に物流の要として期待されています。身近な話題で、ことしは「つつじ公園整備計画」により都市公園が完成します。宇都宮線が都心との時間を短縮、大型商業施設誘致も耳にするとき、将来、生活環境にも大きな変化がもたらされるのかも知れません。しかも平成から新元号へ！今度は、新白岡で迎えることになりました。2028年には自治会創立40周年、更に50周年は2038年、その頃この街は？興味と関心は、この目で確かめることは叶いません。白岡ニュータウンはきつと快適で暮らし易い地域に発展、皆様に愛されていることでしょう。私はいま、ひたすらそれを願うひとりです。

第30回通常総会報告・質疑

第30回通常総会報告・質疑

総務部

白岡ニュータウン自治会第

30回並びに自主防災会第4回

通常総会は4月29日(日)白

岡東小学校で開催されました。

冒頭、当日の会員の出席が2

41名で、また委任状653と

合わせ894個であり、総数

1408個の過半数を上回る

事から、本総会が成立してい

る旨の報告が大野議長よりあ

りました。

自治会の29年度活動報告、

決算報告、監査報告を経て30

年度の新役員が発表され、満

場一致で承認されました。役

員選任後、浅井会長より30年

度活動方針(案)が詳しく説

明され、引き続き担当部長よ

り弔慰金規定改正(案)活動

計画(案)、予算(案)の説明

があり、採決の結果、満場一

致で承認されました。

【自治会関連】

30年度積立金の表が間違

っている。

改正してお詫びします。

会計が厳しい折、各会へ

の補助金の減額、集会所

使用料の値上げなどがあ

る。

30周年記念事業への予算

も検討して欲しい。

実行委員会が過去2年間

の会議の中で費用対効果

を鑑み、少子高齢化が進

む今後を俯瞰し、更なる

街の発展を期待して作り

上げたものです。尚今年

度は諸費用等全般に見直

しを検討しているのでご

理解ご協力をいただきました

い。

弔慰金の問題で世帯主に

絞ることは理解できない。

昨今葬儀の形態も変わっ

てきて、喪中の連絡も大

幅に遅れている。実情を

早めに連絡をお願いしま

す。金額などについては、

ご理解を重ねてお願いし

たい。

資源ごみの件、班長会の

中で徹底し協力して欲し

い。

班会でもお願いをしてい

るし、今後も継続する。

班会議を積極的に行った

方が良いのではないかと？

29年度53班(83班中)の

実績、各班のご理解をお

願いたい。

民泊について

東京五輪を控えて平成30

年6月15日より住宅宿泊

事業法が施行され民泊が

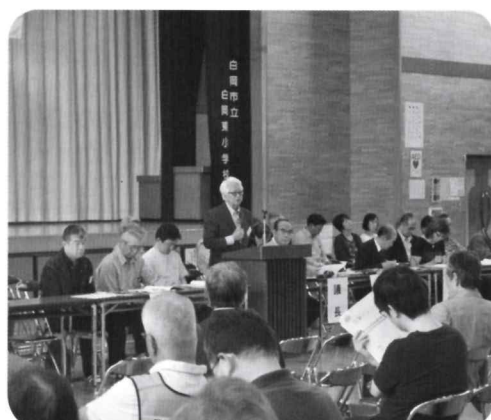
可能になる。これに伴う

問題点を研究し、自治会

としての対応策を検討したい。回覧を通じて自治会員に申請前の連絡をお願いし、実情を把握する予定です。



活発な質疑応答



第4回自主防災会通常総会報告・自治会新役員挨拶

第4回自主防災会通常総会報告

自主防災会事務局 堀 康幸

自治会総会に引き続き、自主防災会の第4回通常総会が開催され、大野議長の進行により、29年度活動報告・決算報告が承認されました。

予算とともに承認されました。最後に自治会の飯塚副会長から閉会の挨拶があり、通常総会は終了いたしました。

役員体制（全員が前年度からの継続）の承認後、田端会長から、今年度活動計画案として、「災害発生時には協力し合うことになる近隣自主防災会との合同情報交換会の開催」、「10月21日（日）開催（白岡東小学校）の防災訓練の実施」、「一目で自主防災会役員と判断できるユニフォーム（ゼッケンベスト）の調達」、「白岡市出前講座によるハザードマップ活用講習会の開催」、「住宅用火災警報器の全戸設置の推進」などの説明があり、採決の結果、満場一致で30年度



自主防災会役員

自治会新役員挨拶



自治会新役員

副会長  
半沢 茂



昨年度から総務部でお世話になっております半沢です。

今年度は副会長として会長を輔け、又総務部部長として多岐に渡る諸問題の解決方法を会員皆様と考えてまいりたいと思います。本年度のメインテーマである30周年記念式典に続いて「ふるさと祭り」の成就、そして先輩諸氏の築いてこられたスローガン「挨拶と花と緑の明るいニュータウン」を継承します。次世代の街づくり、人づくりを皆様と一緒に育みたいと考えております。

総務部の仕事は総会をはじめ各会議の取りまとめと推進です。特に、

- ① 緑化規約の遵守やペットマナー・タバコのポイ捨てに対する呼びかけ。
- ② 班会の開催を促し、地域のご意見やご希望を集約して自治会活動に反映させる事。
- ③ 7月14日（土）に開催の「認知症サポーター養成講座」で

自治会新役員挨拶・退任役員挨拶

啓蒙を計り、認知症に対する身近な知識を共有する。

今年度は副部長に加賀谷さん、増田さんが新しく総務部で協力していただくことになりました。

皆様のご支援よろしくお願ひいたします。

**事業部長**  
**山田 健一**



今年度の事業部長を仰せつかりました二丁目の山田です。今年度は自治会発足三十周年の節目の年ということで、記念行事に参加出来る喜びと、十一月に行われる事業部にとって最大のイベント「ふるさと祭り」が無事に進行できるよう緊張で一杯です。これまで各種イベントを参考に行事を進めてまいります。皆様の心に残る、後世に繋がるイベントにしたいと思っています。

ご理解とご協力が不可欠であります。

アイデアやお知恵を拝借できれば幸いです。

ニュータウンに住んで二十年になります。犯罪や事故、災害のない住環境の良い街を実感しております。

「安全・安心な街 白岡ニュータウンに住んで良かった」と思える街にするため一生懸命務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

**会計部長**  
**岡田 好弘**



会計担当二年目を迎え部長を仰せつかりました一丁目の岡田です。平成十四年から平成二十六年まで札幌、宇都宮と単身赴任でしたので自治会とはほとんど係わり合いがなかったのですが、地元に戻つ

てからは一年前から役員を務めさせて頂いております。今年度は三十周年という重要な年に会計を担当する事になり気が引き締まる思いです。

「記念式典」「ふるさと祭り」等、重要な行事の開催に伴って予算は例年に無く増加しております。会員の皆様からの貴重な会費が有効的、かつ効率的に使われているか管理するのが会計担当者の役割だと考えております。ニュータウンは住みやすく、美しい街並みで大好きです。そんな街づくりに少しでも貢献できたらと思っております。会員の皆様のご理解とご協力を賜り一年間努めさせて頂きたくので宜しくお願ひ致します。



**退任役員挨拶**



自治会退任役員

**ご苦勞様でした！**

**前総務部長 竹村 浩之**

総務部長を退任になりました一丁目の竹村です。浅井会長はじめ、役員の皆様にはご支援ご協力をいただきながら無事任期を務めることができました事に御礼申し上げます。

退任役員挨拶・30周年記念「ふるさと祭り」

自治会活動を通して先輩たちとの出会いがあり、貴重な経験をさせていただきました。とても有り難いことです。これからは、一住民として自治会活動に少しでもお役にたてるよう協力していきたいと思えます。有難うございました。

**前事業部長 大野 豊次**

事業部の役員として2年間微力ではありましたが、事業部の行事を遂行することができました。

思い返せば、昨年は夏祭り・盆踊り大会の会場を校庭から（土が乾かないため）コンクリート通路に変更したこと。青空市ではノロウイルスによる食中毒防止のため餅の販売を廃止したこと等従来と異なるところがありました。混乱することなく開催できました。ひとえに自治会員の皆様のご理解、ご協力と深く感謝する

次第です。また、行事の遂行を支えて下さいました各役員、各班長の方々に感謝御礼申し上げます。

**前会計部長 斉藤 信一**

平成28年度から、会計部の副部長・部長として2年間、大変お世話になりました。

会長をはじめ諸先輩方に支えられ、無事に自治会の金庫番を務めることができました。

この間、たくさんの方と知り合い、共に汗をかきながら各種事業に携わり、舞台裏の苦労なども知ることができ、自分なりに成長できたことは、私の大切な財産になります。

しばらく続きそうな緊縮財政ですが、打開策も必要でし



よう、会員の理解のもと、白岡ニュータウンの発展と当面

**30周年記念「ふるさと祭り」**

**実行委員会 田尾 豊**

の記念事業が無事に成功するよう期待しております。

平成28年7月頃より記念行事としての「ふるさと祭り」を実行委員会を通じて検討してまいりました。自治会通常総会でも一部ご案内の通り、本年度は夏祭り（例年8月）と青空市（同12月）を一本化し、名称も「ふるさと祭り」として11月11日（日）10時から16時に開催する予定です。自治会も30周年を迎えかなり高齢化が進んでいることもあり、真夏の暑い時期を避けることと行事にかかわる準備等のご負担を出来るだけ少なくしたいとの考えによるものです。そして、今回は以前よりも多くの地元の団体にも参加を呼びかけ、将来協働でのふるさと

祭りが可能かどうかを探るものでもあります。また、イベントなども従来型から工夫したものをご提供したいと計画しています。これからも役員一同、自治会会員様の最大のコミュニケーション場としての「ふるさと祭り」を盛り上げていきたいと考えています。何卒ご支援、ご協力賜りますようお願いいたします。



## 白岡ニュータウン開発秘話 (第3回)

30周年関連企画

## 白岡ニュータウン開発秘話(第3回)

総合地所 所長 藤嶋 進さん

前回「新白岡駅誕生」から少し戻り今回はニュータウンの開発許可に至るまでのお話をしましょう。

## ニュータウンの開発許可

1947年(昭和22年)GHQ指揮の下、農地改革(地主の小作地を強制的に国が買い上げ実耕作の小作人へ売り渡す)が行われた。その後、時は流れ大規模農業時代に代わると3ヘクタール前後の農業経営は行き詰まり、出稼ぎや会社勤めの兼業状態で耕作意欲は減退していました。

1967年(同42年)3億円事件、イザナギ景気)弊社(当時安宅産業株)は休耕地状態の当地を住宅開発地として目をつけ土地取得に着手しまし

た。

1971年(同46年)地元及び白岡町の協力を得るため、道路整備や給水の確保などタウン開発によるメリットを提示して協力を仰ぎ、翌年に開発同意に漕ぎ着けました。ところが翌1972年(同47年)中止の憂き目に遭遇!この年当選した革新系畑知事は、東京のベットタウン化する埼玉県への人口流入を抑制するため田畑の宅地化に凍結宣言が出され、当タウン開発審査も中止とされてしまいました。

当社はその後も根気強く担当部署に問い続けながら畑知事が掲げた教育の向上に沿うべく1976年(同51年)白岡高校用地の提供(同年4月開

校)や道路整備など田畑の転用利用の実績を示して開発再開を模索していました。

そして1977年(同52年)

新たな試練に見舞われました!安宅産業が進めていたカナダ石油精製プロジェクトの失敗で一千億円の損失が生じ、弊社の中枢が崩壊、倒産の危機に直面したのでした。社内では事業と人員のスリム化が進む中、国及び金融機関そして同業商社の支援協力を得て、タウン開発の部門は新たに安宅地所(総合地所の前身)に引き継がれ生き残ったのです。

この期間も手は緩めず1979年(同54年)白岡水道用地提供、1980年(同55年)老人福祉センター用地譲渡、1981年(同56年)高岩体育館テニスコート用地譲渡と実績を積み上げ開発再開の糸口を探っていました。

そして遂に1982年(同57

年)「開発申出書」が白岡町から県へ提出され、長年の念願だった開発許可が受理されたのです。

知事から開発中止とされて開発許可を取付けるまでの10年間、先輩諸氏の辛抱強い努力には敬意をばらうと共に唯々頭が下がる思いです。



## アメリカ駐在・ハワイビッグアイランド編

## アメリカ駐在・ハワイビッグアイランド編

3丁目 I・Sさん

1990年夏、日本はバブル景気でハワイもリゾート開発、ゴルフ場開発が盛んな時期、通称ビッグアイランド（ハワイ島）へ家族で転居しました。後に日本の天文台をマウナケア山（海拔4205m）に建設することになり、引き続きハワイ島に残り、1995年11月迄過ごすことになりました。最近キラウエア火山が住宅地の近くまで溶岩を噴き出し、ニュースになっているのがハワイ島です。住宅をコナに借り、子どもは無事Hawaii Preparatory Academyに入学できました。

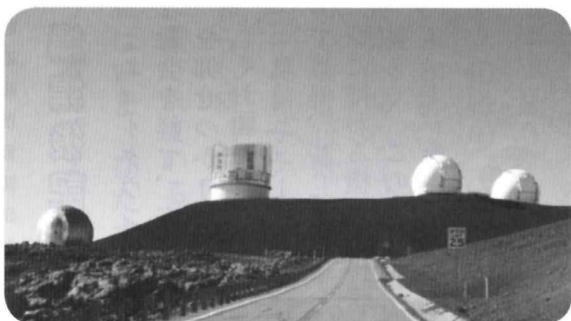
子どもたちは、初めは良くビーチで遊んでいましたが、数か月すると遊ぶのには飽き、友達と遊ぶようになりました。住んでいたコナ地区は子どもスポーツが盛んで、上の二人はテニス、末っ子はサッカーでした。感心したのはスポーツクラブの指導者の質が良く、子どもが楽しく参加できるようにしていることです。サッカーの試合などで子どもたちは、勝つことが優先ではなく、少しスローな子でも交代でポジションを替えボールに触る機会が有るようにしていたことです。

ハワイ島は中央にマウナケアとマウナロア、4200mを超す二つの山が有る為、東のヒロ側と西のコナ側では気候が全然違います。ヒロ側は雨が多く年間4000mm以上で草木が生い茂っています。一方コナ側は年間200mm程度と砂漠に近く、流れ出した溶岩流が固まった風景がそのまま残っています。



ハワイ島マウナケアビーチ

マウナケア山には世界の天文観測の基地が集まっています。4200mの高度と安定した空気、ヒロの町からも近いこと等観測に適した条件が整って、研究施設や観測所・天文台が多く建てられています。日本の「すばる天文台」は一枚のレンズの望遠鏡としては最大の8mの直径があり、1992年建設、1999年から観測が始まり多くの成果を残しています。1992年7月に建設、その年の基礎工事の最中に8月としては17年ぶりの雪に見舞われました。常夏のハワイですが、4200mの山頂は空気も薄く気候も厳しい環境です。冬季の工事の備えが必要でした。その年の冬も雪が多く、12月から2月までは工事を一時中断するほどでした。望遠鏡の建物が完成する頃、1995年夏に子どもたち家族は日本に帰国しました。ハワイには5年いましたので子どもたちはシカゴの時から泣かれました。今でもハワイ時代の友達とSNS等で連絡を取っているようです。

ハワイ島マウナケア山頂天文台群  
(中央がすばる天文台)

## 趣味の作品展示会

白岡ニュータウン自治会  
自治会だより

2018年初夏号

2018年6月1日発行

(年3回発行)

発行・白岡ニュータウン自治会

制作・広報部

# 趣味の作品展示会

事業部 前副部長 矢田部 和子

今年も一丁目ノースプラザで1月20・21日の2日間、趣味の作品展が催されました。油絵をはじめ、水彩画・ちぎり絵・押花絵・布絵・版画・パッチワーク・シヤドゥボックス・写真・折紙細工・アートフラワー・書道等々、様々なジャンルの作品が壁やテーブルを彩り、会場は華やかさでいっぱいになりました。どの作品も製作者の芸術性の高さと熱意が感じられ、会場を訪れた人々に感動を与えていました。特に子どもたちのお習字は活気にあふれていて、心が弾むような新鮮さを感じました。

手作り体験コーナーでは「伝筆」と言って色の付いた筆で文字を絵のように描く技術が体験出来て、大人も子どもも作品作りに熱中していました。中でも3歳のお子さんが素晴らしい作品を仕上げ、作り上げる喜びを実感しとても嬉しそうでした。見ているこちらまで楽しい気持ちになりました。こうした和やかな雰囲気の中でそれぞれオリジナル作品が仕上がり、みなさんとても嬉しそうでした。

今後この作品展をみんなで盛り上げ、継続して行けたらと思います。ご協力頂いた皆様、有難うございました。



## 編集後記

ニュータウン自治会通常総会を経て、広報部副部長を仰せつかりました。よろしくお願ひします。

私はニュータウンに住んで以降、新しくバドミントンに携わる機会を得ました。長らく、このようなイメージを

抱いていました。しかし、実際に携わって見ると、まったく違う世界に



驚かされ、夢中になってしまいます。

30周年記念事業も行われる今年度、皆様も何か新しいことを始めて見るのはいかがでしょうか？ (野村)